

日沿道だより

発行:2006年12月吉日 発行者:日沿道工事連絡会



村上地域の皆様、はじめまして。国土交通省新潟国道事務所所長の中野穰治と申します。皆には、日頃から道路行政にご協力を頂きありがとうございます。この度、「日本海沿岸東北自動車道」中条IC～朝日IC(仮称)間の工事を実施するにあたって、事業者を代表して、ご挨拶申し上げます。

「日本海沿岸東北自動車道」は、新潟から青森までの日本海沿いを走る全長322kmの高規格幹線道路(高速道路)であり、日本海国土軸の骨格となる重要な社会基盤です。今回工事を行います中条IC～朝日IC(仮称)間は、緊急医療の搬送路、あるいは災害時の代替ルートとして、安心・安全な生活を支え、また、広域交流の促進や物流の円滑化を通じて、地域の活性化を図ることが期待されています。

高速道路は、従来、旧日本道路公団(現東日本高速道路株式会社)が有料道路として整備を行ってきましたが、「日本海沿岸東北自動車道」の荒川IC(仮称)から朝日IC(仮称)については、平成17年度末に、「新直轄方式」と呼ばれる、国と地方が建設費を負担し、無料の高速道路として供用を行う方式で整備を進めることとなりました。この方式の変更を受けて、今回の工事区間においては、中条IC～荒川IC(仮称)間は東日本高速道路株式会社、荒川IC(仮称)～村上IC(仮称)間は国土交通省新潟国道事務所、村上IC(仮称)～朝日IC(仮称)間は国土交通省羽越河川国道事務所が整備を進めます。

事業については、現在、用地買収、埋蔵文化財の発掘調査を実施中であり、年度末から全区間において、本格的な工事に着手致します。

工事に際しては、沿線地域の皆様方に何かと不便をお掛けすることもあるかと存じますが、ご理解、ご協力を頂きますよう、どうかよろしくお願い致します。

新潟国道事務所所長 中野 穰治

国土交通省(新潟国道事務所、羽越河川国道事務所)及び東日本高速道路株式会社(村上工事事務所)で実施しております「日本海沿岸東北自動車道」の事業につきまして、沿線の関係地域の皆様方に工事の進捗状況等をお知らせし、理解を深めていただくため、「日沿道だより」を創刊することとしました。

「日沿道だより」は、紙面の内容や事業の内容等、疑問、意見等がありましたら、どうぞ気兼ねなく問い合わせ先までご連絡下さい。

環日本海交流の骨格

「日本海沿岸東北自動車道」

整備区分担当

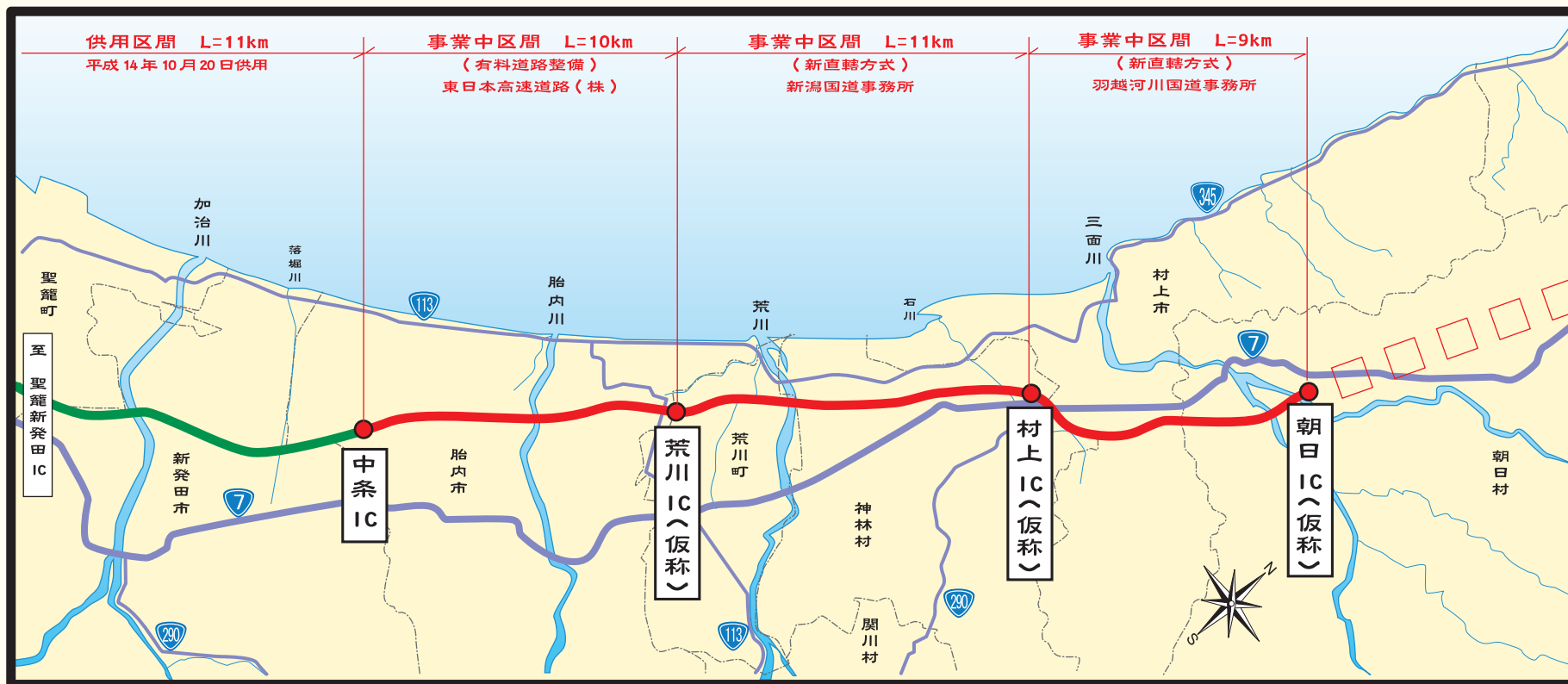
- ・中条～荒川 約10km 東日本高速道路株式会社
- ・荒川～村上 約11km 新潟国道事務所
- ・村上～朝日 約9km 羽越河川国道事務所

「日本海沿岸東北自動車道」は、新潟から青森までをつなぐ高速道路です。

日本海沿岸地域は、広大な土地、豊かな水資源、雄大な自然、そして多くの観光地など今後の開発に十分な資源を秘めた地域で、近世までは、北前船の寄航する港町を中心として繁栄し、経済的・文化的にも発展してきました。

この歴史的にも大きな役割を担っていた地域の、自動車による交流を促進し、地域づくりに貢献する基盤が日本海沿岸東北自動車道です。

日本海沿岸東北自動車道は、日本海側の各地域の交流及び活性化のみならず、環日本海交流の骨格として、日本海沿岸地域の未来を明るく照らすものと期待されています。





平

成 18 年 2 月 7 日に開催された第 2 回国土開発幹線自動車道建設会議（以降「国幹会議」）において、今後の高速道路建設として、6 つの高速道路株式会社が整備する区間と新たに国が「新直轄方式」として整備する区間が確定しました。

当初、高速道路株式会社が整備するとされていた 1,276km のうち、採算面から高速道路株式会社で整備しない区間を地方自治体の意見を聞いて「新直轄方式」あるいは「新直轄方式、有料方式いずれでも可」との回答を得た区間が選定され、第 2 回国幹会議で審議されました。

第 2 回国幹会議で新たに「新直轄方式」として整備されている区間は、全国で 7 区間、123km で、国が 4 分の 3、県が 4 分の 1 の割合で建設費を負担し、通行料は無料となります。

このうち北陸地方では、新潟県の日本海沿岸東北自動車道荒川～朝日間の約 20km が対象となりました。

現在建設中の中条～荒川間 10km については、引き続き東日本高速道路株式会社が有料道路方式で整備を進めていきます。

今年 11 月には、県北地域の基幹病院である県立新発田病院が、救命救急センター等の医療機能を充実強化させて開院しました。現在、県北部の村上市から、県立新発田病院まで約 1 時間かかります。高速道路が整備されると、約 30 分で患者を搬送することができるようになります。基幹病院への救急患者の搬送時間の短縮は、我々が安全・安心な生活を送るためには必要なことであり、高速道路の整備はまさに“命をつなぐ道路”といえます。一刻も早い開通が望まれます。

遺跡発掘調査し隊からの報告

1. 遺跡名：窪田遺跡
2. 場所：岩船郡神林村大字南田中字窪田
3. 概要：

この窪田遺跡は、近世・中世。古墳時代後半から奈良時代の、複数の時代に人々が生活していた集落跡です。また、埋設されていた杭列などから、漁労関係の施設と想定されています。

発掘されている遺物は、近世陶磁器（17 世紀～19 世紀）、珠洲焼の鉢・甕・中国陶磁などの貿易陶磁（13 世紀～16 世紀）、土器（須恵器・土師器など）、木製品（漆器・木器・下駄など）、金属製品・古銭（小刀）などがあります。



↑ 窪田遺跡全景
ずっと昔はここに人が住んでいたんだって



↑ 河川跡杭列
昔はここに川が流れていたんだね



↓ 井戸跡 →
お祈りとかしていたのかな？



↑ 木製品 陶磁器類 ↓



ボクにちえん坊が見てきたよ！



※この発掘調査は、日本海沿岸東北自動車道の建設費により行われています。

住民の声

（社）いわふね 青年会議所

新潟市・青森市までの日本海東北自動車道沿線二十の青年会議所で、日本海夕日ラインネットワーク協議会を組織しています。この協議会では、毎年、「日本海夕日ラインシンポジウム」を各地域持ちまわりで開催し、継続的に日本海東北自動車道の建設促進を訴えています。このシンポジウムは今年で 19 回を数え、そのうち、いわふね青年会議所では 3 回開催し、この地域での高速道路の早期開通を訴えてきました。その中で、採算性

日本海東北自動車道の全線開通にはまだまだ時間がかかるでしょうが、やはり道路は繋がってこそ価値があると思います。高速道路が開通すれば、地域間の移動時間が短縮され、これまで遠いと思っていた地域を近く感じることができ、そこから新たな地域交流が生まれると思います。岩船地域においてもこれからの観光は、他地域との連携による観光交流の促進が重要だと考えています。私は、岩船

が厳しいと考えられる荒川～朝日間で「新直轄方式」にて整備することが決り喜んでいきます。

他地域との連携・交流の強化に 欠かせない高速道路

と鶴岡の青年会議所の連携を契機に、庄内地方との新たな観光ネットワークが生まれると考えております。



（社）いわふね青年会議所
理事長 渡辺 明氏

「あ、青森県！」
「えっ！宮城県？珍しいねえ。宮城県は何しに行きたいの？」
「いや、別にないけど」
「あ、でも宮城県には楽天の球場があるよね！（今思えば…、宮城県には、仙台城址や松島とか良いところいっぱいあるね。）」
「あーオレ、鳥取」
「鳥取？砂丘かなあ？」
「そっかあ、みんな遠いところへ行ったんだね。」

「あはは！それは賢いね！——あと、通学路や道路で何かに気になることが、危ないなって感じるところはありますか？」
「ガードレールとか、白線とかがついてないところがあるから、つけて欲しい。」
「タンクが通った後、煙い！」
「交差点にミラーがない。」

「青森」
「青森県！」
「えっ！宮城県？珍しいねえ。宮城県は何しに行きたいの？」
「いや、別にないけど」
「あ、でも宮城県には楽天の球場があるよね！（今思えば…、宮城県には、仙台城址や松島とか良いところいっぱいあるね。）」
「あーオレ、鳥取」
「鳥取？砂丘かなあ？」
「そっかあ、みんな遠いところへ行ったんだね。」

「あはは！それは賢いね！——あと、通学路や道路で何かに気になることが、危ないなって感じるところはありますか？」
「ガードレールとか、白線とかがついてないところがあるから、つけて欲しい。」
「タンクが通った後、煙い！」
「交差点にミラーがない。」

子供達の声

金屋小学校

黒：インタビューー
青：男の子 赤：女の子 紫：全員



「あたしのと田んぼ道だしミラ——いらないよ。」
「んー、でもやっぱり信号はあった方がいい。」
「そうだね、危ないしね。いろいろな要望があるんだね。」
「それじゃあ最後に、将来なりたい職業ってありますか？」
「気象予報士！」
「おー、すごいねえ！」
「パティシエ……それが保育士。」
「子供がいなくなつたらならないじゃん。」
「うわあ……厳しい意見だね。あれ？男の子たちは？」
「えー、職業ってうーかあ……職業じゃないよなあ。」
「何？フリーター？」
「んー……プロ野球選手。」
（先生）「立派な職業だよ！」
「おーいいねー！カッコいいね！」
「よかったネー！カッコいい☆」

緊張の様子もなく、楽しく大盛り上がりでインタビューに答えてくれたみなさん。大人たちはそのパワーに圧倒されっぱなし！でも、荒川や三河川など私たちの身近にある美しい川を、子供たちも誇りに思ってくれることを知ってとても感動しました。

左から 楓さん、紗雪さん、美紗さん、寛治さん、春介さん

問い合わせ先



国土交通省

北陸地方整備局



新潟国道事務所

〒950-0912 新潟市南笹口2-1-65
TEL 025-244-2159
URL <http://www.2159.go.jp>



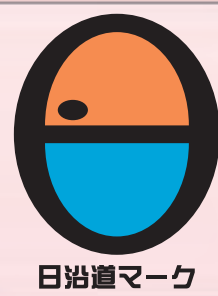
羽越河川国道事務所

〒959-3196 岩船郡荒川町大字藤沢27-1
TEL 0254-62-3211
URL <http://www.hrr.mlit.go.jp/uetsu>

NEXCO
東日本東日本高速道路株式会社
新潟支社

村上工事事務所

〒958-0328 村上市大字仲間町493-6
TEL 0254-50-0111
URL <http://www.e-nexco.co.jp/>



日治道マーク